

# 第5学年 道徳科指導案

1 主題名 誠実に生きる (A 正直、誠実)

教材名 「手品師」

2 研究主題との関連について

本学級の児童は、男女仲良く、毎日明るく学校生活を送っており、自分の心に素直に発言したり、行動したりできる児童が多い。しかし、時には自分の損得感情で行動したり、自分の都合や気持ちを優先したりするが故にトラブルになることも多々ある。さらによりよい人間関係を築き、明るい心や自己の成長を目指すために、誠実に生きる心を高めたい。

そこで、本教材では、手品師の選択や行動、生き方について多面的・多角的に話し合うことを通して、「誠実に生きる」ことのよさについて考えたい。また、自分自身の心の中には誠実に生きようとする心がある反面、時に相反する気持ちがあることに気付かせたい。そういった人間の弱さや葛藤を自覚した上で、誠実に生きようとするこの尊さや価値に迫ることができるようにしたい。誠実に生きようとする気持ちを大切にすることで、より明るい心となって行動にも表れると考える。周囲に流されず自分の良心に従い、真心をもって物事を決断していこうとする意欲を高めたい。(視点1)

3 本時の学習

(1) ねらい

「手品師」の行動やそれを支える思いについて考え、誠実に明るい心で生活していこうとする意欲を高める。

(2) 展開

学 習 活 動 (時配)	指導上の留意点 <span style="float: right;">◆評価 (方法)</span>
<p>1 行動を迷ったときの判断基準について話し合う。 (5)</p> <p>○AとBの行動で迷ったとき、みんなは何を基準にして選びますか。</p> <p>・自分にとって楽しい方を選ぶ ・自分にとって楽な方を選ぶ ・相手がいる場合は、相手が傷つかない方を選ぶ ・約束した方を選ぶ。</p> <p style="text-align: center;">「手品師」の行動から、考えたことを交流しよう。</p> <p>2 「手品師」を基に、正直、誠実について考える。 (30)</p> <p>○「手品師」を読んだ感想を交流しましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>男の子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子を喜ばせることができ、自分の自信につながる。</li> <li>・約束を守れてスッキリする。 ・人のためになれたことが嬉しい。</li> <li>・大チャンス逃したことに少し後悔もある。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>手品師</b></p> <p>心の迷い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子との約束を守りたい。 ・男の子をがっかりさせたくない。</li> <li>・男の子が待ってくれている。 ・約束を破る自分になりたくない。</li> <li>・もやもやが残る。 ・男の子を少しでも幸せにしたい。</li> </ul> </div> </div> <p>○大劇場を選ぶのは、よくないことですか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>大劇場</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢を叶える大チャンス！ ・長年の夢だからぜひ行きたい。</li> <li>・貧しい生活から抜け出したい。 ・有名になりたい。</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>手品師</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手品師は、自分の得より、約束を選んだのかな。</li> <li>・男の子を思い、約束を守ったことで、心がスッキリしたんだな。</li> <li>・大劇場を選んだとしても誰も責めることはできないし、駄目ではない。自分の夢を選んだということだけど、もやもやは残るかもしれないな。</li> </ul> </div> </div> <p>◎「手品師」のとった行動や、その気持ちから、どんなことを学びましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを思った行動をとると、心がスッキリするんだな。</li> <li>・自分の得より、相手との約束を選ぶことはなかなか難しいけれど、その方がスッキリとした明るい心でその後生活できそうだな。</li> </ul> <p>3 本時の感想を書き、共有する。 (10)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約束を守ることは自分のためにもなることが分かりました。</li> <li>・いつも相手を選ぶことは難しいと思います。でも、その心を大切にしていきたいと思いました。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">☆は特別な支援を必要とする児童への手立て</p> <p>☆一人一人が自分の考えや感想をしっかりとって話し合いに臨めるよう、事前に教材を読み、感想や話し合いたいことを明確にする「反転学習」を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に考えたことを、オクリンクで共有することで、気になる意見に対して児童同士で質問できるようにする。</li> <li>・「誠実」というキーワードは、敢えて提示せずに進めることで、より児童が多面的・多角的に話し合い、主体的に課題を見付けられるようにする。</li> <li>・なぜ男の子を選んだのか、そうすることでどんな気持ちになるのかを立ち止まって問うことで、誠実に行動することのよさに気付けるようにする。</li> <li>・男の子との約束を守ったことに対するよさにのみ意見が偏る場合、「大劇場を選ぶのはよくないことか」という補助発問を行うことで、より多面的・多角的に手品師の行動のよさについて考えられるようにする。</li> </ul> <p>◆ 「誠実に行動する」ことのよさについて、自分自身との関わりで多面的・多角的に考えている。(発言・ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手品師の気持ちや行動のよさを交流し合う中で、「誠実」という言葉を紹介する。</li> </ul>

(3) 視点

発問構成や板書の工夫、反転学習は、児童が多面的・多角的に自分との関わりの中で考え、ねらいに迫るために有効であったか。